

事務事業評価シート 平成 28 年度事後評価・決算

平成 30 年 2 月 22 日時点

事務事業名			所管課			建設課			担当班			土木班		
29200 道路維持補修事業			会計			項 目			事業種別					
基本施策 18 安全で快適な道路の整備			科目			8 2 2			☒ 主な事業					
施策の展開 35 市道の整備			根拠法令			道路法、旭市法定外公共物管理条例			☒ 国土強靱化地域計画					
戦略事業 173 市道の維持補修事業			戦略事業						☐ 新市建設計画					
									☐ 定住自立圏構想					
									☐ 主要事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☐ 平成 年度～ ☒ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		市道の舗装及び付属施設の破損をパトロール及び地元住民からの要望等により把握し、緊急性のあるものから維持補修計画を作成して市道の維持補修を行うものである。 緊急性の高い補修工事は、迅速に対応できるよう年間で業務委託を行っている。	
③事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④事務事業に関する課題・環境の変化	⑤事務事業に対する住民からの意見等
車社会の到来により、舗装道路における破損の進行が著しく、破損箇所が起因となる交通事故や2次災害防止の目的ため、事業を実施している。		大型車両の増大により開始時期の舗装構成では強度が不足している路線が見受けられる。	道路破損箇所が起因となったタイヤのパンク、自転車の転倒などの報告。補修の早急な対応が求められている。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(28年度の決算)		単位:千円					
1.道路補修委託料	19,195	1件	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
2.調査・測量委託料	5,118	2件	17,000	16,764	16,956	19,195	17,000
3.道路舗装改修工事	158,530	88件 3,579m	10,404	70,947	162,683	5,118	17,280
4.負担金補助及び負担金	0		107,040	0	0	158,530	163,404
5.その他	0		0	567	0	0	1,500
			0	822	0	0	0
② 特定財源の内訳(28年度の決算)		単位:千円					
1.国庫支出金	2,733	社会資本整備総合交付金	事業費計(A)				
2.都道府県支出金	0		134,444	89,100	180,125	182,843	199,184
3.地方債	0		0	0	8,712	2,733	25,300
4.その他	0		0	5,323			
			134,444	83,777	171,413	180,110	173,884

前年度増減理由	入札執行残による
---------	----------

従事職員数 常時 10人 最大 人 × 日 = 延べ 0人

(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

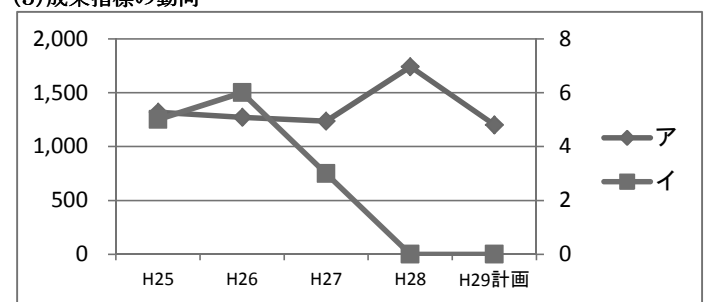
手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	28年度実績(28年度に行った主な活動) 道路維持補修工事 88件 L=3,579m	維持補修延長(年間委託実施分を除く)	m	1,895	1,729	5,533	3,579	1,950
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	対象意図 市道 安全性の向上 利用者(市民) 安心して通行できる	年間要望・苦情の件数	件	1,320	1,271	1,235	1,741	1,200
		道路維持管理に起因する車両事故件数	件	5	6	3	0	0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい	かなりある	ある程度ある	ほとんどない
	普通			⑦
	小さい			

② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			(12)

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☐ 順調 ☒ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難				
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)					
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	比較
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標ア	成果指標イ	数値減=成果向上	☒ 向上 ☐ 横ばい ☐ 低下	24年度 25年度 26年度 27年度 28年度 138 Δ49 Δ36 506 Δ541 4 1 Δ3 Δ3 0
③ 今年度取組事項 (29年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容	今後の方向性	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 見直し ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 ☐ その他()	
		平成29年度	例年どおり実施		例年どおり実施	